



編集雑記

既刊案内 (特集・主要記事)

[2月号]

◎**特集** 進化するポリブテン管・継手 ○耐食・施工性に優れた環境にやさしいポリブテン管…ポリブテンパイプ工業会 藤藁貴夫 ○ポリブテン管によるプレファブ配管システム…JFE継手(株) 藤藁貴夫 ○樹脂配管システム「ブッシュマスター」のご紹介…(株)ブリヂストン 尾上清太郎 ○シーレックス・シーロック1…シーケー金属(株) 西 佳彦 ◎**地方レポート** 水道の事業継続をめざし岩手県中部に新たな広域水道(Ⅰ)…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎建築着工統計調査報告 平成25年計…国土交通省 ◎平成26年度予算案における環境保全経費の概要について…環境省 ◎平成26年2月から適用する公共工事設計労務単価について…国土交通省 ◎学校建築における空調衛生設備配管の管種選定動向(建築設備情報年鑑2013による)…第一高周波工業・井出浩司 ◎明日への道標 不毛地帯の彼方に ~経営参謀としての瀨島龍三…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎**東京ブラリルポ** スカイツリーから浅草に向かった…(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎第6章 衛生器具設備…建築設備士 土井 巖 ◎~衛生器具の発達史~<第27回>…TOTO歴史資料館 山谷幹夫 ◎新・撮った写真が5万枚!?◎…IDE研究所いでこうじ ◎建築着工統計(2013年12月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

[3月号]

◎**トピックス** 素形材産業取引ガイドライン改訂 素形材産業における適正取引等の推進のためのガイドライン…経済産業省 ◎**地方レポート** 水道の事業継続をめざし岩手県中部に新たな広域水道(Ⅱ)…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎建設業法等の一部を改正する法律案について…国土交通省 ◎建築基準法の一部を改正する法律案について…国土交通省 ◎小規模企業振興基本法(小規模基本法)…中小企業庁 ◎労働政策審議会 職業能力開発分科会報告…厚生労働省 ◎「ロボット技術の介護利用における重点分野」を改訂しました…厚生労働省 ◎「介護ロボットに関する特別世論調査」の概要…内閣府政府広報室 ◎持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアルについて…国交省・農水省・環境省 ◎平成24年度末における浄化槽の設置状況等について…環境省 ◎「富士教育訓練センターの充実強化の具体化に向けた検討委員会」報告書について…国土交通省 ◎**明日への道標** 戦火で刻まれた年輪~ユーハイムの受難と再生…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎**東京ブラリルポ** 石神井公園の散歩を生活の一部に…(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎**新刊紹介** 絵とき「バルブ」基礎のきそ(小岩井隆著) ◎鋼管技術フォーラムin東京開催とPE鋼管による新配管システム提案活動…第一高周波工業・井出浩司 ◎第6章 衛生器具設備…建築設備士 土井 巖 ◎新・撮った写真が5万枚!?◎…IDE研究所いでこうじ ◎建築着工統計(2014年1月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

- A 科学誌ネイチャーに発表されたSTAP細胞に関する不正論文問題が波紋を広げている。
- B 筆頭著者である理化学研究所の小保方晴子研究ユニットリーダーは内容の不備を謝罪しながらも論文の撤回には応じなかった。
- A 故意ではなく過失という主張だね。STAP細胞が存在するという結論はまちがっていないと。
- B 論文の信用性と研究の正当性は分けて考えるべきだ。少なくともデータの改ざんがあった以上、事実に基づく科学論文としては成立しない。
- A 結論が正しいと確信するなら論文を撤回して新たに執筆すればいい。それができないのは研究生命が絶たれるという恐怖感があるからか。
- B 研究の現場では縦割りの成果至上主義が蔓延している。大きな失敗は致命傷になりかねない。
- A 学会の体質も問題だ。成果一辺倒の風潮を放置して倫理感の欠けた競争を助長している。
- B 1945年、史上初の核実験に成功したマンハッタン計画を思い出すね。原爆の完成にこぎつけた研究者たちは歓びで沸きかえっていたと物理学者のファインマンが書き残している。大量殺りく兵器を開発した罪悪感はまったくくない。
- A 広島と長崎への原爆投下後、アインシュタインは核兵器の廃絶を訴えるようになった。過ちがあれば潔く正して二度と繰り返さない。これが科学者の社会的責任というものだ。
- B STAP細胞は人体の組織や臓器が再生するという希望を与えた。立ち足る問題にどう臨むかで科学の行方も変わってくるだろう。(高倉)

給排水・環境設備の総合誌

月刊「コア」第294号

平成26年5月1日発行 定価1,000円(本体926円)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884